

特定非営利活動法人 金融知力普及協会

2020 年度事業報告書

2021 年 5 月

2020 年度事業報告

2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日まで

I. 事業の経過および成果（概要）

全ての人々にフィナンシャル・リテラシーを。この理念を実現することが我々の目的です。認定 NPO として様々なアプローチで金融経済教育に取り組み、金融経済教育団体としての知名度向上、そして事業収益の確保を図って参りました。

高校生向けの金融経済教育イベントの「エコノミクス甲子園」においては、開催地方大会の減少もありましたが、無事に実施することが出来ました。また、新企画の「リアビズ・高校生模擬起業グランプリ」も成功裏に終わり、次年度以降の成長を予感できるものでした。

思いがけないコロナ感染症の影響の下、多くの皆様のご支持や行政の給付金などによって財政的にはマイナスにならずに一年を過ごすことが出来ました。

2020 年度の主要事業の概要、主なトピックは以下の通りです。

I-1. 金融知力普及啓蒙事業

① 第 15 回エコノミクス甲子園を開催

地方大会は 31 の地方大会を実施し、全国で 880 チームの参加がありました。全国大会は初めてとなるオンライン開催を、三井住友 DS アセットマネジメント様の会場協力を得て実施いたしました。32 の地方大会代表が参加し、無事にハイクオリティな配信を行うことが出来ました。

金子・森育英奨学基金は継続して実施し 2 名の奨学生が選ばれております。

② 第 1 回リアビズ・高校生模擬起業グランプリを開催

三菱みらい育成財団の助成金募集がきっかけとなり、昨年のエコノミクス甲子園の土曜日ラウンドで実施したビジネスラウンドを独立企画としました。初年度にもかかわらず全国 50 の応募があり、無事にグランプリが決定しました。

③ 経済カードゲームエコノミカの販売

カードゲームで遊びながら経済用語や資産運用について学べる「経済 TCG エコノミカ ブースターパック」を継続して販売いたしました。またステイホーム応援企画として、プレゼントを実施しました。しかしながら、コロナの影響もあり、大会の実施は行いませんでした。

④ 金融知力インストラクター対象のフォローアップセミナー実施

インストラクター向けの施策「フォローアップセミナー」を 2 回実施いたしました。セミナーの目的は、「インストラクターのスキル向上」、「資格更新機会の提供」となっております。コロナの影響もあり、オンラインのみの実施となりました。

I-2. 金融知力教育事業

① 通信教育

2020年の通信講座受講者数は以下のとおりです。

新版通信講座	新規受講者数	昨年度	累計受講者数
ベーシック コース	70名	66名	1824名
アドバンスド コース	1名	1名	707名
合計	71名	67名	2531名

② セミナー・研修

2020年に当協会が主催、受託、講師派遣した研修はありませんでした。

I-3. その他特記事項

① 寄附金

一般会計には、個人から222万円の寄附がありました。

エコノミクス甲子園関連は1,770万円のご寄附を頂きました。

リアビズ関連には、300万円の寄附と800万円の助成金をいただきました。

奨学金特別会計には、500万円の寄附をいただきました。

② 給付金

持続化給付金として200万円、家賃支援給付金として89万円の給付を受けました。

Ⅱ. 財務の状況

2020 年度の収支の状況は添付のとおりとなっています。協会では例年公認会計士に全件監査を委託しており、引き続き財務会計の公正性、透明性を高めてまいります。

- ・ 経常収益は合計で、6,510 万円から 5,229 万円への減少でした。
- ・ 事業費は 3,994 万円で、そのうち 1,280 万円が人件費となっております。
- ・ 管理費は 986 万円となっております。そのうち 624 万円が人件費です。
- ・ 事業費と管理費を合計した経常費用は、昨年の 5,704 万円から 4,981 万円へ減少いたしました。
- ・ 2020 年度の利益は 241 万円となっております。

以上